

津軽こけし



こけしは昔木地師が子どもに与えた玩具が発祥で次第に湯治場のお土産ものとして東北地方でさかんに作られるようになりまし。伝統こけしには現在十一の系統がありますが中でも津軽こけしには決まった型はなく、工人それぞれの豊かな表情を楽しむことができます。

下川原焼 鳩笛

弘前で二百年前から作り続けられている鳩笛です。鳩は八幡宮の神様の使いとして人々に親しまれてきました。

吹くと「ホー」とやさしい鳴き声が響きます。



阿保 正志
〒036-8083 青森県弘前市新里上樋田 85-2
TEL0172-27-3766

八幡馬

八戸で七百年前から作られている木の親子馬で「日本三天駒」の一つです。華やかな模様は南部地方の嫁入りする際の盛装馬の装束を表しています。馬は古来より邪気を祓う神聖な動物として大切にされてきました。幸福、発展、繁栄を願う縁起馬です。



(株)八幡馬
〒031-0071 青森県八戸市沼館 2-5-2
TEL0178-22-5729

六原張子 赤みみずく

赤い色には魔除けの効果があるとされみみずくは知恵の象徴・招福のシンボルとして古くから親しまれてきました。江戸時代、子どもが病にかかると赤みみずくの人形を家にまつり病をはらい福を招いたと言われています。



さわはん工房
〒029-4501 岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原東町 50-36
TEL0197-43-3397

金のベッコロ

かつて金の産地として繁栄した南部藩。京の都に砂金を運ぶ際には従順な南部牛が利用され文化隆盛の基礎をつくつたと伝えられています。

金のベッコロは、かつて砂金で作られたという一説もあり金運繁栄の縁起物として広く親しまれています。



小田島民芸所
〒025-0098 岩手県花巻市材木町 10-20
TEL0198-23-4856

仙台張子 辰

仙台で作られている小さな張子の干支人形です。

和紙のよさをそのまま活かした優しい風合です。繊細な細工が施されかわいらしく首がゆれます。



たかはしはしめ工房
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中江 2-8-5
TEL022-222-8606

堤人形 招き猫

堤人形は三百年以上の歴史があり現在でも当時の型を使つて製作されています。招き猫は全国の郷土玩具に見られますが堤人形の招き猫はとりわけりりしい表情で華やかな模様を纏っています。



つみのおひなつこや
〒981-0912 宮城県仙台市青葉区堤町 2-10-10
TEL022-233-6409

松川だるま

仙台で古くから親しまれている松川だるま。顔の周りを群青色と金粉で縁取られおなかには福の神が描かれた「伊達だるま」です。大きな目で無病息災、家内安全を四方八方見守ります。



本郷だるま屋
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-3-7
TEL022-233-5658
*こちらの商品は、無印良品 有楽町限定企画です。
「福缶」をお買上げ頂いた先着100名様にプレゼントいたします。

ねまりこ



ゆたかな湯が湧く鳴子温泉でこけしとともに江戸時代末期から作られる座っている女の子の姿をかたどった木地玩具です。子どもの成長を願うお祝い人形や子授けの縁起物として親しまれてきました。頭がはめ込みになっていてまわすとキュッキュとかわいらしい音が鳴ります。

起上がり小法師

何度転んでも起き上がりことから七転八起の縁起物として地元の人々に愛されている起き上がり小法師。一族繁栄や家内安全を祈り家族や身上(財産)がふえるよう家族の人数よりひとつ多く持つとよいといわれています。



岡崎の店 (代表)
大沼秀顕・大沼秀則・岡崎斉一・桜井昭寛・佐藤賢宏・須貝國男・高橋武俊
〒989-6823 宮城県大崎市鳴子温泉字湯元 96
TEL0229-83-3153

ねむりえじこ

「日本三天駒」の一つで古くは坂上田村麻呂東征の伝説に由来する郡山市の「高柴デコ屋敷(旧三春藩領)」が発祥地と言われ子どものお守りとして「高柴子育て木馬」という一寸大の馬型木彫が原形です。名馬の産地として知られた三春ならではのたくましい馬体特徴で今でも手宝・安産・子育てのお守りとして親しまれています。



木地処さとう
〒379-1111 群馬県渋川市赤城町北赤城山 460-204
(本店：〒970-8022 福島県いわき市平塚字徳房内 92-3) <http://www.kijidaruma.com>

三春駒



郡山市(江戸時代の三春藩高柴村)には「デコ屋敷」という、郷土玩具を作る数軒の古い集落があります。「デコ」は人形のこと、「木偶(でこ)」が訛つたものです。デコ屋敷では古くから三春張子や三春駒が作られてきました。「まめで達者で丈夫に生きられるように」という思いを込めて中に豆が入っています。振るとカラカラと心地よい音がします。

青龍

郡山市(江戸時代の三春藩高柴村)には「デコ屋敷」という、郷土玩具を作る数軒の古い集落があります。「デコ」は人形のこと、「木偶(でこ)」が訛つたものです。デコ屋敷では古くから三春張子や三春駒が作られてきました。「まめで達者で丈夫に生きられるように」という思いを込めて中に豆が入っています。振るとカラカラと心地よい音がします。



デコ屋敷 彦治民芸
〒963-0902 福島県郡山市西田町高柴字館野 80-1
TEL024-972-2412

赤べこ

会津地方では牛のことをベコと呼びます。千二百年程前会津柳津・福満虚空蔵尊圓蔵寺の建立の際、最後まで働き通したのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には壮健を祈りまた疫病除としても贈られ、親しまれています。



(有)民芸処 番匠
〒965-0811 福島県会津若松市和田 1-6-3
TEL0242-27-4358

2012 福缶

東北地方の縁起物

無印良品